



東京電機卸

TOKYO DENKI OROSHI

第175号

発行
東京都電機卸商業協同組合
〒113-0034 東京都文京区湯島3-6-1
電話 03 (3832) 4295
<http://www.tep.or.jp/>

行事予定などを承認

7月度理事会をリアルで開催



東京電機卸第175号目次

東京電機卸・7月度理事会	1	3 P
新鋭社員6カ月後フォローアップ研修	4	5 P
年金・経済講演会	6	7 P
CEATEC 2023	8	9 P
ECU Show 来場者分析結果報告	10	11 P
とつきょうでんきおろし告知板	12	P

東京都電機卸商業協同組合（TEP）は7月4日、令和5年7月度理事会を全国家電会館1階会議室において開催した。

今理事会は、各委員会の再編が行われてから初の理事会となり、事務局と各委員会からの報告に加え、今後を実施する予定の研修会や講演会、会員間の親善を目的としたイベントなどについての説明が行われた（写真はCEATEC 2023の会場である幕張メッセ）。

理事会の開催に先立ち、新しく理事に就任した岩田徹也氏、長山美季氏、藤木愛氏らが紹介され、新任の挨拶も行われた。

屋宮芳高理事長は「総会終了後、初の理事会であり、新たなメンバーが増えたのでよろしく願いたい。

我々の見方と違う見方で仕事をされたり、付き合いなどもあるかと思う。ぜひ、どんな話をしていただきたい。我々も電子部品だけでなく、様々な分野を考えていかなければならない。

新たに参加いただいた皆さん、ありがとうございます。私も何十年か前に紹介をしていただき、何も話せず、聞いていたことを覚えている。

今は若い方が、積極的に話をしていけるような理事会で



挨拶する屋宮理事長

なければならぬと思ってい。遠慮なく、積極的に話をしていたきたい。

特に女性の活躍は大切だ。この業界は働かされている方は女性が多い割りに、女性を働かやすくする役目の上の方々には男性ばかりであり、本当に女性が働きやすい会社を作れているのかと考えている。ぜひ、意見を言っていたければと思う。

今回、新たに再編し、役目をお願いしてしまった。そのため、色々と思うことがあるかと思うが、委員長や私に言っていたきたい。会員の皆様のため、組合を改革していきたいと考えているので、よろしく願いたい。

時代は変わりつつある。これからもChat GPTなど様々なものを上手く使いながら、商売の仕方を変えていかなければならない。

我々の業界は電気自動車、5G、6Gなどの最先端の物を扱っているが、下手をすると思われかねない。

商社に頼まないと、必要なものが必要な時に集まらないというような集まりにした。TEPは120社以上あり、全国を見渡すと200以上の仲間のネットワークをつなぎ、良い業界にしていきたい」と挨拶し、理事会が開催された。

事務局からの報告

事務局からの報告では、渡辺勤事務局長から、第74回通常総会収支について、報告が行われた。

通常総会は5月12日に開催され、当日は総会、懇親会まで実施されたことなども報告された。

〈各委員会報告〉

組織委員会（樋口巨委員長）

樋口委員長から組織委員会の活動について、次の2点が報告された。

(1) 組合員の異動については、7月1日時点において、組合員数は118社、賛助会員は24社となったことを報告。

(2) 機関誌『東京電機卸』広告申し込み状況は、20社1グループから申し込みがあったことが報告された。

教育情報委員会（藤巻宏直委員長）

藤巻委員長から教育情報委員会の活動について、次の3点が報告された。

(1) 第34回新鋭社員6カ月後フォローアップ研修会については、9月4日に開催される予定であり、案内を送付することを報告。

(2) 営業のための商談折衝力アップ研修については、11月17日に開催する予定であることを報告。内容は、商談力を上げるため、自社の強みを再確認し、商品ニーズの変化・対応力と、新市場の開拓のヒントを掴むことが目的となっている。

(3) 女性のための仕事力養成ゼミについては、令和6年の2月16日に開催予定であることを報告。

藤巻委員長は(3)について「女性社員限定のゼミとして実施するという考えもある

が、女性社員の戦力化や意識改革を目指す管理職の参加があっても良いのではないかと考えている。再度、内容を詰めて提示させていただく」と語った。

また屋宮理事長は「研修についてだが、学び直しということも非常に大きなテーマになる。研修でどのようなものを行うか常に考えている。

皆さんからも『こういう研修が必要ではないか』と言っていたいただき、反映することも考えている。Chat GPTなども取り込み、どのように仕事に利用していくのかを研修したいと考えている。

ぜひ、皆さんが社員に受けてほしいと思うものを提案していただきたい」と語った。

会員サービス委員会（市村康徳委員長）

市村委員長から会員サービス委員会の活動について、次の2点が報告された。

(1) 第108回親善野球大会開催結果については、正会員が20チーム、賛助会員4チームの計24チームが参加

理事会では新任役員も挨拶



し、アルプス物流が優勝、シャープマーケティングジャパンが準優勝、角田無線電機が3位、千代田電子機器が4位となったことを報告。また、収支も報告された。

(2) 第109回親善野球大会開催については、9月3日から開催予定であることを報告。

市村委員長は「資料にはないが、久しぶりにボウリング大会を11月に開催することを予定している。正式に日程が決定したら、改めて報告させていただきます」と語った。

後日、11月17日にマルアイ

ボウリング(足立区)で、第5回親善ボウリング大会と懇親会が開催されることが決定された。

イノベーション委員会(花岡克己委員長)

花岡委員長からイノベーション委員会の活動について、次のように報告された。

(1) 電子機器トータルソリューション展2023については、来場者数がコロナ前の水準にまで戻ってきており、合計で4万8018名まで回復。

TEP・JEPの出席社数も昨年度の9社から今年度の17社にまでなり、小間数も20小間から35小間となったことを報告。

花岡委員長は「次の電子機器トータルソリューション展は、令和6年6月12日～14日に掛けて開催されるので、引き続き出展のご協力をお願いしたい。

またシートテック2023が、今年の10月17日～20日の日程で開催される。

JEPとしてはなるが、

ブース出展し、会員名簿やトートバッグの配布を行う。ぜひ、シートテックに来場したら、ブースに立ち寄ってほしい。」

また「今年度のJEP会員名簿は、QRコードを入れる動きをしている。

事務局からアナウンスがいつているかと思うので、ご協力をお願いしたい」と語った。

その他

その他については、組合講演会を7月4日に開催する予定だったが、5月の総会において委員会の再編があったことから、今回は中止となったことを報告。

また年金・経済特別講演会については、コロナでしばらく中止されていたが、9月5日に開催する予定であることが報告された。

最後に事務局から、今回の理事会を11月9日14時30分から全国家電会館において開催し、15時30分から組合講演会を予定していることなどが報告され、7月度理事会は終了した。

ライフサイクルに年金計画を

現役世代からシルバー世代まで応援します

<http://www.denki-nenkin-kikin.jp>

東京都電機企業年金基金

〒113-8555

東京都文京区湯島3丁目31番6号

大塚ビルディング

電話(03)3836-2711

FAX(03)3839-3766



すこやかな毎日

皆様の健康づくりを

サポートします

東京都電機健康保険組合

〒113-8566

東京都文京区湯島3丁目15番4号

電話(03)3834-7211 FAX(03)3837-1195

<http://www.denkikenpo.or.jp>

新鋭社員6カ月後フォローアップ研修

これからの6カ月間の目標を設定

東京都電機卸商業協同組合・教育情報委員会は9月4日、全国家電会館で「新鋭社員6カ月後フォローアップ研修」を開催し、17社から49名が参加した。

今回の研修は新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で開催された。

開催に当たり、藤巻宏直教育情報委員長は「入社当時は

分からないことだらけで、できないことが多かったと思うが、今はできることも多くなってきたのではないだろうか。本日は、入社してからの5カ月間を振り返り、以前の自分と比較し、成長した自分を褒めてほしい。

またグループワークもあるが、たくさんの方の会社の方の行動情報交換をして新たな行動につなげてほしい」と挨拶。

また山本講師は「今回の研修では、皆さんの生の体験を取り込み、上手いこと失敗した事例から対策を取っていくことを大切にしている。

研修の目的は、入社からどれだけ成長したかを点検することになる。一通りの仕事ができるようになったのが、今の皆さんの状況。そのためこれまでに振り返る。

さらに、入社からの1年で一人前になるため、あと6カ月で何を身に着けるべきかを個人別に目標を持つ必要がある。自分の強みと弱みを知り、課題を持つことが目標になる」と語り、研修が開始された。

研修では、現状の自己チェック、自己紹介と職場紹介、仕事の進め方の点検、ケーススタディ、科学的な仕事の進め方、実践力をつける行動のメカニズムについて学習。特



藤巻委員長が激励



研修を行う山本講師

にグループワークでは、参加者それぞれの成功体験や失敗体験を共有し、より成功を強化する方法や同じ失敗を繰り返さない対策、職場内で発生する課題や問題点に、どのように対応するかなどを討議。

最後にはこの後の6カ月に おける目標設定なども行われ、参加者各員が真剣に目標を記入する姿が見られた。

●参加者についての所感

研修終了後、山本講師は参加者の印象について次のように語った。

「参加者についてだが、グ

また中途採用の方もおり、こういう方にはフレッシュな方の意見を取り込み、リフレッシュの機会にしていなければと思う。

今回、感じたこととして、

この世代はバワハラ、セクハラなどへの教育を学校教育として受けている。その中で上司の方に留意していただいた

貸し会議室を低料金で、ご提供いたします

全国家電会館

一般社団法人 日本電化協会

東京都文京区湯島三ー六ー一
電話 03(3832)4291

熱心に研修を受ける参加者たち



いこととして、参加者からの声の中に『会社の中でベタベタされると困る』というのがある。

この内容を掘り下げると、『公私のけじめなく付き合わされるのを遠慮したい』ということになる。

私の世代は飲みニケーションが当たり前と思っているが、参加者の世代は、これが受け入れがたい雰囲気の世界となっている。

私としては、仕事は仕事、個人は個人ということ、

断つても構わないが、上司側から見ると『嫌われているのか』と思われかねない。

そのため、会社の中では積極的に上司に質問をするなど補完策が必要になる。そうしないと、上司の方は『自分嫌われているのでは』というイメージを持ってしまいう可能性がある。

ぜひ上司の方には、断られるのが当たり前の世代だと思っていたきたい。決してこの世代は、生意気でも嫌っているわけでもなく、自分の

方には、怒る場合にその理由を説明し、納得させてほしい。この世代は、反論や反撃をすることなく、黙って耐える、もしくはごまかす世代で、自分の中に溜め込みかねない。そのため、しかり方には納得させることを忘れないでいただきたい。

本日の参加者には、『仕事を一通り覚え、これからはミスが多くなる。つまり、怒られることが仕事になる』と伝えてある。

またコロナの影響からか、

プライベートの時間に ついてのメリハリをつけているだけにすぎない。

仕事面については、時間通りにきっちり進める姿が見られた。研修内で仕事のテーマごとにダブルチェックを行うように話したが、それをすぐに活かし、行っている姿も見られた。

一方で、怒られることを怖がっているように感じる。ぜひ上司の

コミュニケーションへの苦手意識が見られる。そのため、上司の方との電話での会話や1対1の面談が重要になると思う。

この世代は外に出での面談などに、積極的に取り組まねばならない世代。リモートワークやオンライン面談で仕事が済むわけではない。

できれば、上司の方と同行する機会を作ってあげてほしい。ぜひ、上司の方には、このようなことを注意していただければありがたい”などと語った。

■代理店■

- ・ TDK(株)
- ・ TDKラムダ(株)
- ・ 北陸電気工業(株)(HDK)
- ・ 第一電子工業(株)(DDK)
- ・ 山一電機(株)
- ・ 株タムラ製作所
- ・ 株沖田製作所
- ・ リバーエレテック(株)
- ・ サトーパーツ(株)



エレクトロニクスの総合商社  中村電気株式会社

■本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-10-7
TEL 03(3255)3821 FAX 03(3255)3826

■営業所 八王子・神奈川・東北・関西

■ホームページ <http://www.nakamura-denki.co.jp>

※E-mail によるお問い合わせは、info@nakamura-denki.co.jp

世界に広がる ネットワーク

◆海外販売拠点
中国: 香港、深圳、成都、広州、重慶、上海、大連、合肥
タイ: バンコク、クラレ、ランナーズ、ピタローク
マレーシア: クアラルンプール、ジョホールバル、ペナン
ベトナム: ホーチミン、ハノイ
シンガポール、フィリピン

◆海外生産工場
中国、タイ、ミャンマー

○主な取扱メーカー

ヒロセ電機	ホーム	シャープ	ニチコン
ソニーセミコンダクタソリューションズ	岡谷電機産業	網谷電機産業	タムラ製作所
東京エレクトロニクス	双信電機	放熱器のオーエス	SEMITEC
竹内工業	FDK	坂東電線	大真空
タカチ電機工業	沖電線	伊ガミエレク	Ambiq Micro

飯田通商株式会社
IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co.,Ltd.
〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-3
TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213
<http://www.iida-tusho.co.jp/>

年金・経済講演会

新NISAとインフレ下での動きを解説

東京都電機卸商業協同組合は9月5日、全国家電会館で年金・経済講演会を開催した。

年金講演会は、三菱UFJ信託銀行資産形成推進部MUFJ資産形成研究所所長の日下部朋久氏を講師に招き、「今から始める資産形成」新NISAと退職金・年金の活用方法」をテーマに講演。

経済講演会は、ニッセイ基礎研究所総合政策研究部常務理事チーフエコノミスト・経済研究部兼任の矢嶋康次氏を講師に招き、「勝つために経営者が持つべき視点とは」インフレ下の日本経済を徹底解



挨拶する屋宮理事長



日下部講師



矢嶋講師

●年金講演会

日下部講師は、次のように講演を行った。

「2024年1月から始まる新NISAについて、お伝えしたい。

なぜ資産形成が必要なのかだが、収入と支出のバランスが崩れた時に、調整のために資産形成が必要となる。それを知るためにライフプランシミュレーションがある。これは、各金融機関でも用意されている。正解はないので、試行錯誤してほしい。

老後の生活にいくら必要なのかだが、2017年の総務

省家計調査では、65歳以上の高齢者無職世帯において、月に5万5千円が不足していることが分かった。

この不足が30年間継続すると想定した時、2千万円ほど不足することになる。他の調査でも最低準備しておきたい希望額は、2千万円となっている。

資産形成の目的としては、逆算して老後資金として必要となる金融資産を、いくら準備するかになる。

NISAについてだが、要件を満たした投資の運用益や売却益が非課税となる。このNISAだが、24年1月から新NISAとなる。

なる。

さらに、非課税枠がこれまで一般NISAで年間120万円、最大で600万円、つ

みたてNISAは年間40万円、最大800万円が限度だったが、成長投資枠で240万、つみたて投資で120万円、併用して年間360万円非課税額投資が可能になる。さらに、最大で1800万円までとなる」。

この後、新NISAの注意点や投資と、そのリスクなどについて語られた。

まとめとして日下部講師は、「資産形成すべきお金は人それぞれであり、そのためには公的年金や退職金、企業年金などの将来の収入の把握が必要になる。

資産形成には、非課税枠が拡大される新NISAは、大きな武器となる。

さらに、資産形成にはリスクコントロールが可能な、長

が、新NISAでは可能と

熱心に聞き入る参加者



●経済講演会

期・積立・分散の投資手法がお勧め。しかし、資産運用リスクに対する感じ方は人それぞれであるため、自分に合った運用方法を探してほしい」としている。

経済講演会では、矢嶋講師から企業の課題や日本の現状、世界・日本のメインシナリオなどについて、次のように語られた。

「1つの例として、私が使っていたシャンプーが廃盤になった。これだけ外からの値段が上がると、値上げをする

ことになる。そのため、企業は慌てて新商品を投入、新機能を搭載して値段を上げていく。

そこで必要になるのが、付加価値の創出となる。

企業は、労働生産性を上げなければ潰れてしまう。この労働生産性は分子が売上や利益、分母はそれを作るためにどれだけお金を掛けているかになる。

日本が特殊と言われたのは、この分母をコントロールすることで生産性を上げていく。分母を小さくすることで、コストを下げていた。

この先、インフレ気味になるなら、このコントロールができればいいが、難しければ、掛かるコスト以上に利益を上げる必要がある。これが今、起きていることになる。

なんとしても企業は売上で伸ばさなければならぬ。コストカットは必須だが、それだけで利益が出る構造ではなくなったという理解が必要になる。

新商品を開発するのは、従業員。つまり、アイデアを

出すためには人的投資が必要になる。そして、アイデアができたなら企業の中で設備投資をすることになる。

これは、今までの流れと逆転しており、実際に設備投資は最高の動きになっている。経営者の脳が相当に動き出している。

この1〜2年で良くなってきた理由として、明らかに名目経済が拡大している。名目経済が拡大すると、企業は利益が出やすくなり、黒字化する企業が急激に増えている。そうすると法人税が増える。税収が増え、財政で経済に金を流す。岸田政権は当初、増税と言っていたが、やっていることは安部政権の流れを敷いた成長戦略となる」。

またこれ以外に、中国の状況として2つのデフレが進んでいることや、直接の投資が急減速していること、日本のEV市場が出遅れている状況、日米欧の地域におけるグリーンエネルギー産業支援策、日本の地方における付加価値戦略などについても解説した。

した。



グローバルな視点で 次代を拓く。

中国、インド、シンガポール、台湾、そして日本。
私たちは「有言行動」の信条のもと、
地域に密着した各営業拠点と連携し、
スピーディかつ柔軟なコンサルティングセールスで
お客様の需要を満たし続けます。

独自性を追求する半導体・電子部品の技術商社
オーエスエレクトロニクス株式会社

〒101-0021
東京都千代田区外神田 3-16-8
秋葉原三和東洋ビル
TEL. 03-3255-5985
<https://www.oselec.jp/>









部品を、 極める。

主要品目：機構部品、表示部品、音響部品、無線部品、電源部品、複合部品



ホシデン株式会社

本社 〒581-0071 大阪府八尾市北久宝寺1-4-33 TEL 072-993-1010
 東京支社 〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-14-25 TEL 045-423-2201

CEATEC2023が閉幕

名簿とエコバッグでアピール

今年もCEATEC2022

日程で開催された。

3 (主催/電子情報技術産業

同展の出展者数は684社

展者率は45%となった。

協会)が募張メッセ(千葉県) / 団体(22年展は562社 / において、10月17日~20日の 団体)うち新規出展者数は3

05社/団体となり、新規出展者率は45%となった。

なお、来場者数については、開催期間中10万人の来場を見込んでいたが、約8万9千人の来場となった。正式な数字は、12月に実施報告書で発表される予定。

今展のコンセプトは「Toward Society 5.0」(Society 5.0に向かって)。

JEPブースで名簿を配布



このSociety 5.0とは、仮想空間と現実空間を高度に融合したシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会と定義されており、IoTによって人とモノがつながり、知識や情報を共有し、新たな価値を生み出し、AIやロボット、自動運転などの技術により、少子高齢化や地方の過疎化など、様々な課題が克服されるとされている。

そのため、開催趣旨は「経

エレクトロニクス専門商社

すべてお客様の立場で考え、誠実な対応を志します。

主要取扱メーカー



〒 101-0021 東京都千代田区外神田 3-7-3 TEL : 03-3253-5231 FAX : 03-3258-9398

<http://www.hinomarususen.co.jp>

日の丸無線通信工業株式会社



会場の様子。中央上付近がJEPブース

そうした中、全国電子部品流通連合会（JEP）もCEATEC2023に出展した。ブースでは、JEP特製エコバッグに『JEP会員名簿2024』を入れ、ブース来場者に配布してJEPをアピール。またJEP会員名簿を使い、どの名簿を使い、どの

来場者からは、「JEPとはどのような団体なのか」「この団体に加入している会社の部品等を、一覧で見ることが出来るか?」「ネットで比較検討したり、注文などもできるのだろうか?」などの質問も出され、これらに丁寧に回答する姿が見られた。

なお、JEP会員名簿とJEP特製エコバッグの配布は、JEP事務局に加え、花岡無線電機、浜田電機、ノマ電気、大和無線電機からも応援があり、会期中、無事に配布が行われた。

「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」となっている。

なお、今回のCEATECでは、Society 5.0の実現に向けたテクノロジー全般のエリアである「アドバンスドテクノロジー」、Society 5.0の実現を支える電子部品や電子デバイス

のエリアである「キーデバイス」、独自のテーマを設定し、あらゆる産業・業種のパートナーとともにSociety 5.0の未来社会を体現する「パートナーズパーク」、国内外のスタートアップ企業や研究成果の社会実装を目指す大学等のエリアである「スタートアップ&ユニバーシティ」、海外諸機関や地域を代表する企業等が集まる「グローバル」といった5つの展示エリアで構成。

講演などのコンファレンスについては、幕張メッセでのリアルとオンライン配信によって200本以上が実施された。

●JEPも出展！名簿を配布



今回配布した名簿とエコバッグ

電子部品の専門商社 — TOMIHISA —

富久無線電機株式会社

SINCE 1923

おかげさまで

since 1923

100

周年

Anniversary

富久無線電機株式会社は
100周年を迎えました。
これからも、皆様の良き相談相手として、
エレクトロニクス産業に
貢献していきます。

多数のメーカーを取り扱っています
詳しくは弊社WEBサイトを
<http://www.tomihisa.co.jp>

本社 〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-1 所沢営業所 〒359-0024 埼玉県所沢市下安松799-1 所沢商品センター 〒359-0024 埼玉県所沢市下安松799-1 富久香港有限公司 香港	〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-1 TEL.03-3813-5581 TEL.04-2944-6422 TEL.04-2945-7220	FAX.03-3811-3918 FAX.04-2944-6143 FAX.04-2945-7217
--	---	--

電子機器トータルソリューション展2023 結果報告

ECU Showの来場者分析も発表

電子機器トータルソリューション展2023（JPCA Show）が5月31日～6月2日の日程で、東京ビッグサイト東展示棟で開催された。今展示会には517社が出展、1273小間の規模と

なり、会期中には約4万8千人が来場。2019年展の約4万4千人を上回った。

会員名簿とエコバッグを配布

今回のJPCA Showでは、来場者参加型企画が用

意され、先進技術体験や人材獲得・育成に向けた活動、出展者同士の交流会なども行われた。

そうした中、JPCA Showを構成する展示会の1つであるElectronics Component & Unit Show（略称はECU Show）には、東京都電機卸商業協同組合（TEP）から三共社、富永電気、メトロ電気、アール電子、大和無線電機、鳥居電業、日川電機、飯田通商、グローバルディスプレイ、コアスタッフの10社が参加。

また全国電子部品流通連合会（JEP）から、岡本無線電機、東亜無線電機、NNP、ツルタ制御機器、摂津金属工業、成電社、名古屋理研電具の7社が参加した。

JEP・TEPとしてもブース出展し、JEP会員名簿とエコバッグを配布し、ど

のような組織であるのかを伝えた。

来場者の傾向は？

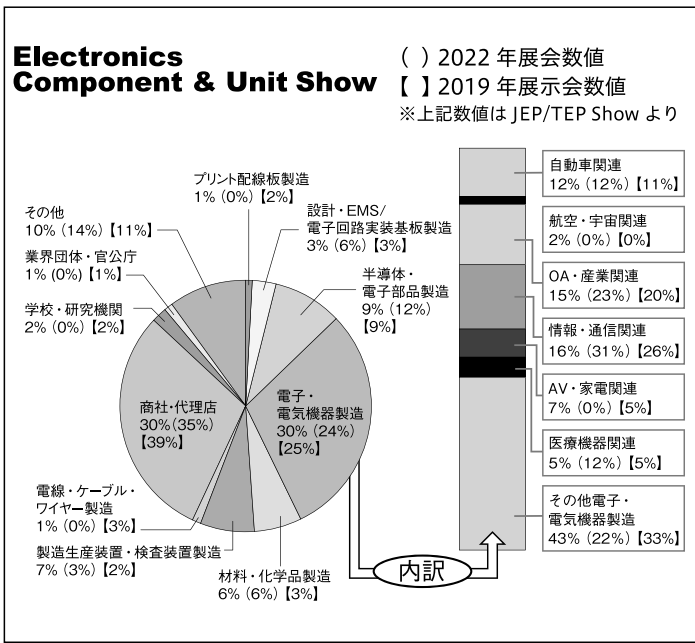
JPCA Showの終了後、来場者分析が発表された。これによると、今展示会全体における来場者の業種分類では、「プリント配線板製造」が9%、「設計・EMS/電子回路実装基盤製造」が3%、「半導体・電子部品製造」が9%、「電子・電気機器製造」が23%、「材料・化学製品製造」が13%、「製造生産装置・検査装置製造」が11%、「電線・ケーブル・ワイヤー製造」が1%、「商社・代理店」が17%、「学校・研究機関」が2%、「業界団体・官公庁」が1%、「その他」が11%となった。

「情報・通信関連」が24%、「AV・家電関連」が6%、「医療機器関連」が4%、「その他電子・電気機器関連」が35%という結果になった。

JPCA Show本部署務局では「本展は総合展示会のため、電子機器に関連する幅広い業種の方々に来場いただき、中でも電子・電気機器製造の方が多い。特に電子・電気機器製造の中でも『その他』の方が前回よりも多く、より来場者の幅が広がっている。

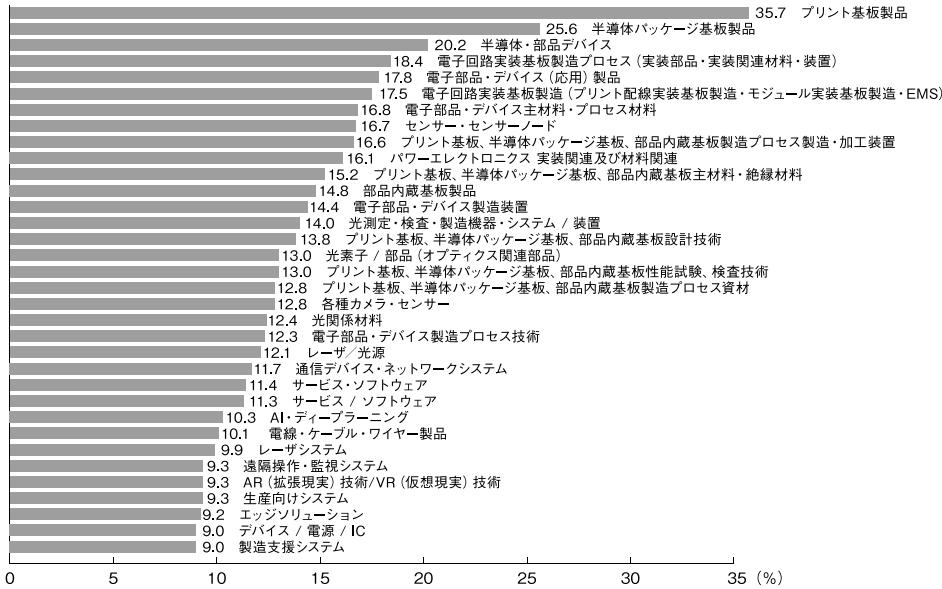
また製品分野においては、プリント配線板製品・半導体パッケージング製品への関心度が高い」とした分析をしている。

これ以外に、来場者の職種分類についても分析されており、「営業・経営企画」が35%、「経営管理」が13%、「生産技術・製造技術」が9%、「設



「計」が6%となった。
ECU Showの来場者
これ以外に来場者分析も
われ、ECU Showの来
場者分析を見ると、「プリント

全展示会において来場者が関心のある製品分類 ※複数回答



配線板製造」が1%、「設計・EMS/電子回路実装基盤製造」が3%、「半導体・電子部品製造」が9%、「電子・電気機器製造」が30%、「材料・化学品製造」が6%、「製造生産装置・検査装置製造」が7%、「電線・ケーブル・ワイヤー製造」が1%、「商社・代理店」が30%、「学校・研究機関」が2%、「業界団体・官公庁」が1%、「その他」が10%となった(表参照)。

なお、電子機器トータルソリューション展来場者へのアンケート結果も発表されており、来場目的の上位を見ると、「新技術/製品等の情報収集のため」が68%、「基調講演等のセミナー聴講のため」が11%、「関係者との交流のため」が9%、「調達製品(装置、材料等)の選定のため」が5%となった。

次のECU Showは6月

電子機器トータルソリューション展2024は、2024年の6月12日〜14日、東京ビッグサイトで開催されることが決まった。

IoTソリューションをアナログ最先端技術で

— High-end Analog Solution for Your IoT. —

三共社が選ばれる理由



最適なアナログ回路提案



専任FAEによる技術サポート



産業機器顧客向け小口対応

取扱
メーカー

- アナログ・デバイス社
- セイコーソリューションズ株式会社
- ザイリンクス株式会社
- エイブリック株式会社
- 京セラ株式会社
- 太陽誘電株式会社
- セイコーインスツル株式会社
- 株式会社シーズウェア
- セイコーエプソン株式会社
- 日本モレックス合同会社

SANKYOSHA

株式会社 三共社

<https://www.sankyosha.co.jp/>

本社 〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町1番地 三共美倉ビル TEL.03-5298-6201 / FAX.03-5298-6202
 大阪支店 TEL.06-6309-6201 / FAX.06-6309-6202 名古屋支店 TEL.052-959-2833 / FAX.052-973-1623
 長野支店 TEL.026-219-3890 / FAX.026-219-3891 香港オフィス / シンガポールオフィス

とつきよう
でんき
おろし

告知板

11月 (霜月)

11月9日 (木) 13時30分～
14時30分 正副理事長・委員長会議 (全国家電工会館1階会議室)

11月9日 (木) 14時30分～
15時30分 理事会 (全国家電工会館1階会議室)

11月9日 (木) 15時30分～
17時 組合講演会 (全国家電工会館5階講堂)

11月17日 (金) 9時30分～
梅川亭)

17時 第1回組織力強化・マネジメント強化プログラム (全国家電工会館1階会議室)

11月17日 (金) 18時～21時
第5回親善ボウリング大会 (北千住駅西口のマルアイボウリング)

12月 (師走)

12月1日 (金) 18時～20時
忘年会 (上野「伊豆菜・梅川亭」)

2024年 (辰年)

1月 (睦月)

1月10日 (水) 14時～17時
新年名刺交換会 (全国家電工会館5階講堂)

1月25日 (木) 13時30分～
14時30分 正副理事長・委員長会議 (全国家電工会館1階会議室)

3月6日 (水) 14時～16時
全国電子部品流通連合会・理事会 (WEB会議)

3月 (弥生)

1月25日 (木) 14時30分～
15時30分 理事会 (全国家電工会館1階会議室)

2月 (如月)



編集後記

一定のサイクルでの買い替えが家電製品の前提としてあったが、修理部品の保有年数等を延ばすことでより長寿命化を図り、そうすることでカーボンニュートラルに貢献しようという動きが生じてきた。

また、修理する権利も欧米では注目されている。EU圏内では、手軽に自分での修理が可能なスマートフォンや各種電化製品の販売、フランスでは修理しやすさの提示まである。

アップル社はこのに反対していたが、賛成に回った。遠くない未来、日本の様々な製品でも同様の動きがあるかもしれない。(S)

『東京電機卸』

機関誌編集委員会

発行人 屋宮 芳高
編集委員長 樋口 亘
編集委員 小池 一義
渡辺 勤

SATO PARTS
SATO PARTS

自在な相棒。



KISEKAE チップ
TJ-100 series
先端交換・組み合わせ自在!

www.satoparts.co.jp